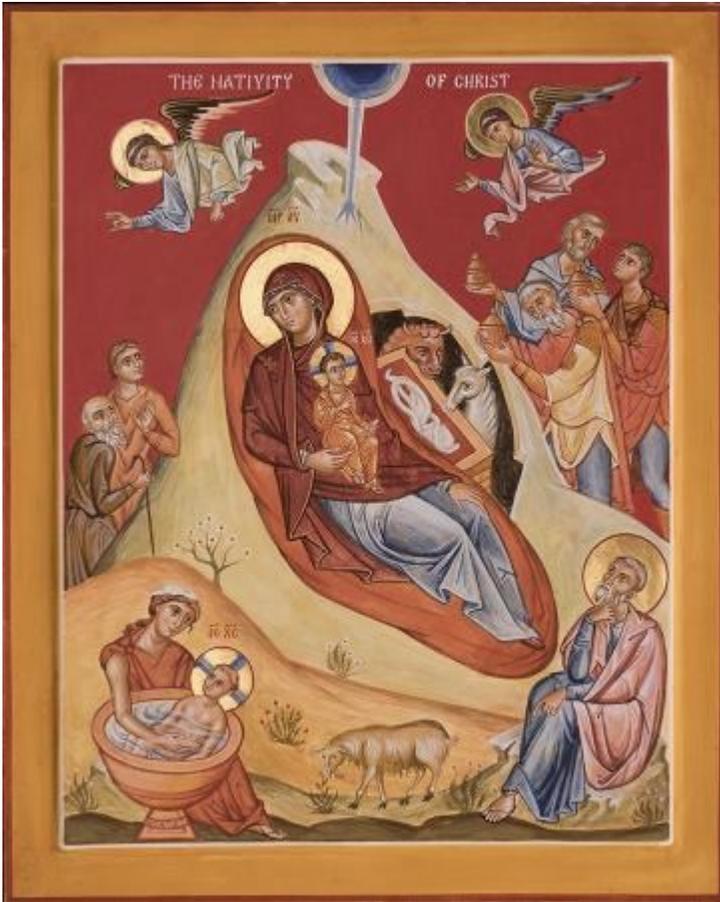


ハリストス天よりす、迎えよ



ハリストス生まる、崇め讃めよ



仙台正教会  
教会だより

2022年  
12月号

〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四一〇〇  
TEL 022-251-2744  
FAX 022-241-3080  
http://www.sendai-orthodox.jp  
orthodox@hyper.ocn.ne.jp

仙台ハリストス正教会

今、童貞女は永在の主を生み、地は載せ難き者に洞を獻ず  
天の使は牧者と偕に讃め歌い、博士は星に従いて旅す  
蓋、我等の為に永久の神は嬰兒として生れ給えり

(主の降誕祭のコンダク)

「主は永遠の神、地の果てまで創造された方。疲れることなく、弱ることなく、その英知は究め難い。疲れた者に力を与えられる。」(イザヤ<sup>イザヤ</sup>40:28)

「永在の主」「永久の神」すなわち「永遠の神」が、時間と空間という制限の中に入って来られ、私たちと同じ「人間」になった。これがハリストスの降誕の意味である。そしてそれは「我等の為」、すなわち私たちに「力を与える」ためになされた

ことである。これがハリストスの降誕の目的である。

預言者<sup>イザヤ</sup>イザヤは続けて言う、「主を待ち望む者は新たな力を得、鷲のように翼を広げて舞い上がる。」(40:31)

「主を待ち望む者」として天使と羊飼いと博士達と共に降誕祭を祝おう。降誕祭において祈りを深める私たちは「新たなる力」を得ることができる。この困難な時代を乗り越える力を祈り求めよう。(D)

## セラフイム大主教座下のご動静

セラフイム大主教座下は東京での奉事や仙台での奉神礼執行を控えておられるが、腰痛のリハビリの成果が予想よりも上がっておられ、11月6日(日)は、七五三と聖名祭の感謝祈りを司務され、また11月13日(日)には水口神父の陪祈と共に聖体礼儀を司務された。今後、東京での奉神礼に再開も視野に入れて体調管理を継続される。



▲ 七五三と聖名祭のモレーベン



▶ 聖名日感謝祈りに参拝されたイオアン高橋輔祭と



◀ 主日聖体礼儀における信徒領聖 11/13



▲ 主日聖体礼儀における祝福 11/13

## 聖歌隊総会開催

ニコライ本多弘明

去る11月13日(日)の聖体礼儀後、聖歌隊総会が開催された。本来、5月末の日曜日に開催の予定だったが、コロナの感染状況などによりのびのびになっていったのだが、ようやく開催することが出来た。水口神父様のご臨席のもと、コロナの対策を取りつつ一時間足らずという短い時間ではあったが、多くの出席者を得て様々な課題などを話し合うことが出来た。

あわせて、長年聖歌隊をお支えくださった大立目兄がこの度ご退会されることになり、感謝の食事会も行うことが出来、有意義な会になった。

コロナの間、何かと制約の多い活動をせざるを得ない状況が続いている聖歌隊ではあるが、来年こそこれまでの日常が戻ることを祈念して会を終えた。



# 東北ブロック 誦経奉仕者研修会に参加して

セルギイ渡邊安久(中新田正教会)



11月3日文化の日に東北ブロックの誦経奉仕者研修会が一関ハリストス正教会において開催されました。

約20名の参加があり、中新田正教会からはマリヤ澤邊みき子姉と私と妻アンナ和子の3名で参加をしました。午前10時より開会祈禱、引き続き小池神父様の挨拶があり、その後各教会参加者の自己紹介と続き、10時30分より水口神父様による

「誦経の心得」と題して約1時間半、多岐にわたって講義が行われました。

誦経は、神父様・誦経者・聖歌隊と  
いかに上手く(キヤッチボールのように、バトンタッチのように)祈禱がスムーズに進んで行くか、それが一番大事なことではないかと思われました。

午後からは、実技研修があり講師には田畑神父様、松島神父様による、時  
課程・使徒経のお話と各管轄教会から一人づつ、三時課・使徒経を実際に読んでみたりと、各自の教会で誦経をしている人、又初めて誦経をしたという人も、今日の講義を充分理解していると思われるかのように上手に出来ており、関心するばかりでありました。

ただ読めるだけでなく「誦経の心得」をしつかり理解する事が如何に大事であるかを思わされた有意義な研修となりました。是非これからも今回のような研修が毎年行われることをお願いいたします。

最後に、会場の一関正教会の皆様、神父様方に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



10月30日(日)、代式祈禱の後、仙台教会の聖堂入口に置いてあるプランターの花の入れ替えが行われた。アナスタシア増子姉が中心となって、5、6名の女性信徒の方々がご奉仕くださった。

## 婦人会より

12月11日(日)、祈禱後に婦人会として会館3階で軽食をとり、ささやかなクリスマス会を行う予定です。会費五百円です。問い合わせ、および参加希望者はナデジダ清水婦人会長まで。申込〆切は12月4日。

12月4日(日)、代式祈禱の後で、聖堂入口にあるオリーブの鉢の植え替えを行いたいと思います。お手伝い可能な方はぜひご参加を。



白河正教会だより

毎年11月

1日から7

日までの1

週間は文化

庁による「文

化財産保護強

調週間」とさ

れ、文化財を

一般公開す

るよう文化

庁より要望

されている。

福島県の文化財である白河

正教会生神女進堂聖堂と聖

像の一般公開は、13年ほど

継続している。見学が少ない

年もあったが、近年は山下り

んを目当ての方が多くなっ

た。今年は、11月3日から

6日まで、信者が当番制で

案内を行い、延べ一三〇人の

見学者に対応した。



駐車場と境内の境に新しく伸縮式の門扉が設置された。エレナ平澤緑姉からの寄贈である。

中新田正教会だより

10月29日(土)、30日(日)にかけて、水口神父が中新田正教会を巡回

した。聖体礼儀と月例パニヒダにつづいて毎年恒例の「中新田正

教会収穫祭」が開催された。今年もコロナ禍の中にあつて開催が

躊躇されたが、感謝祈禱を行い、今年収穫された初穂が成聖され

た。祈禱後は、秋の晴天の下、境内でバーベキューをして懇親を

深めた。今年は諸事情により例年に比べると参加者は少なかった

が、感謝に満たされた収穫祭となった。



11月13日(日)には代式祈禱の後で糖飯の講習会を行った。

消 息

・永眠

十一月九日

マルファ熊谷ふみゑ 姉 (97歳)

永遠の記憶【中新田正教会】



## 人間とは誰なのか その2

著 府主教カリストス・ウエア  
 翻譯 長司祭 ダヴィド 水口優明

正教会の人間観では、創造主と被造物の間にある境界線は絶対に消し去ることはできない。しかしその一方、神の像として形成された人間として、すなわち超越した神の生きたイコンとして、私たちは、神のようになる、つまり「テオシス(神成、神化)」に達する可能性をもっている。(中略)

「神成される動物」としての私たち人間の役割とは、自己を超越すること、そして天と地を一つにすることである。私たちは、神の恵みによって、空間を越えて無限へと、時間を越えて永遠へと伸展するよう招かれている。創造された世界と創造されない者(神)との仲保が、私たちの務めである。神のイコンとして、私たちは、天と地を一つにする能力を持つている。(中略)

天土的で地上的、霊的で物質的である私たち人間は、一人一人が、一つの小宇

宙(ミクロコスモス)である。そして仲保者として行動することが、小宇宙たる私たちの高い特権である。天と地を一つにし、天土的な地、地上的な天を作ることによって、私たちは、すべての物質が霊的な器となりうる潜在力をもっていることを呈示し、すべての創造物の心に神が臨在することを明示し、顕現させるのである。これが、楽園における第一のアダムに課せられた使命だった。

## (5) 「感謝を献げる」という特性

私たち人間は、どうやってこの一体化と仲保の役割をきちんと務めるのだろうか? その答えは、感謝、讚美、聖体礼儀、奉献をおして、である。これは、人間の第5番目の特性に私たちを導く。すなわち、人間とは、ユーカリステイクな(感謝を献げる)動物であり、創造物のために神を讚美する力を賦与された、感謝することのできる動物であり、感謝のうちに創造主へ世界を献げ戻すことのできる動物である。(中略)

「それ(晩課の始まりにおいて神の天地創造を記憶し讚美すること)は、世界

を神の創造物として再発見し、崇敬し、感謝するということを意味している。言うなれば、神によって生命に召された人間が、その目を開き、神が愛のうちに人間に与えた世界を見、すべての美なるものを、自分が立っている神殿のすべての光栄を見、そして神に感謝をした、その最初の夕方へ、教会は私たちを連れて行くのである。そして、この感謝によって、彼は彼自身になった。もし教会がハリストスのうちにあるならば、その最初の行為は、常にこうして、神に世界をお返しし、感謝をする行為である。」

ここに、私たちの第5番目の人間の特性の面がある。感謝することによって、私たちは、私たち自身になる。感謝なしでは私たちは人間ではなく、疑似人間、否むしろ反人間である。讚美し、献げるという姿勢をもつことよってのみ、私たちは、本当の意味での人間性に到達するのである。



# 降誕祭・年末年始のお知らせ

## 【降誕祭の奉事】

12月24日(土)17:00

主の降誕祭徹夜祷

12月25日(日)10:00

主の降誕祭聖体礼儀

※新型コロナウイルスの終息が完全ではないため今年も降誕祭祝賀会は中止いたします。

## 【年末年始日程】

12月31日(土)17:00

新年奉事徹夜祷

1月 1日(日) 0:00

新年感謝祈祷

10:00 新年・主日聖体礼儀

新年感謝祈祷

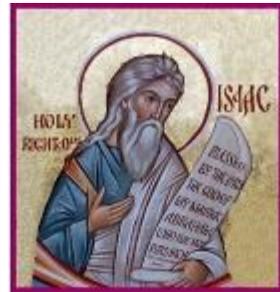
## 12月聖名日 モレーベンのご案内 12月11日(日)聖体礼儀後

12月の聖名日モレーベンに該当する方々の一覧です。是非ご参拝下さい。

※今月は第二日曜日になります



▲聖三童子アザリヤ



▲聖列祖イサク

聖名日	聖名	氏名(敬称略)
12月7日	エカテリナ (アレクサンドリヤの聖致命女)	高橋めぐみ、山田恵津子
12月7日	アウグスタ (アレクサンドリヤの聖致命女)	後藤やすゑ
12月13日	聖使徒アンドレイ	遠藤 守、小野崇耶
12月19日	ニコライ (ミラ・リキヤの大主教奇蹟者)	大窪 仁、佐藤信一、菅原克明、 高橋文彦、道家憲雄、本多弘明、 山田喜美雄、山村英作
12月21日	アンフーサ (聖致命女)	山崎治子、山寺しちよ
12月26日	ルキヤ (聖致命処女)	佐藤宏美
12月30日	アザリヤ (聖三童子)	清水 燈
聖列祖の主日	聖列祖ルツ	太田道江
聖列祖の主日	聖列祖イサク	本多由幸、山村一作

# 執事会報告

令和四年11月6日(日)  
12時30分～14時 3階会議室

## 一、報告事項

・七五三モレーベン 11/6

子供の参加者は1名。用意したお菓子は参拝できなかった子供たちにも配布。

・誦経奉仕者研修会(一関) 11/3

東北の各教会から20名の信徒が参加。

仙台からの参加信徒はいなかった。

・境内樹木剪定と伐採 10/4

増尾造園(増尾秀子姉)よりの献納とされ、費用は発生しなかった。

・聖堂入り口のビニール新調 10/12

高橋嘉彦兄のご奉仕と水口神父の協力で行われた。

・会計報告 一般/収益

コロナ特別給付金が入った。

教区分担金の第四回納入。

降誕祭献金用として12月の会報に振込用紙と封筒を同封する。

ピアノ調律が行われた。 10/6

二、協議事項

(1)降誕祭について

12月24日(土)、25日(日)に祈禱予定。降誕祭祝賀会をどうするか検討した。新年会か降誕祭祝賀会か、どちらか一つは行いたいという意見もあり、種々協議した結果、「降誕祭祝賀会」は今年も中止とすることになった。ただし、お菓子やカードは参拝者に配布する。

(2) 新年祈禱について

12月31日(土)、1月1日(日)元旦が日曜日と重なるが、例年どおりの奉神礼を行う予定。新年会は、1月15日(日)に「飛天」で行う予定としたい。店に仮予約をしておく。

三、その他

・婦人会による奉仕活動への参加者を募るため、予定をはやく決めて、会報に案内を載せるようにしたい。

・正教時報の降誕祭の挨拶広告は例年通りとする。

・聖堂入り口の受付に、各種献金用の封筒を置いておく。



# 献金報告 (4.10.24～4.11.21)

○聖堂内献金 三万三千九百六十円

○感謝献金

一万円 山村清子

○聖名祭感謝献金

三千円 佐々木隆、高橋哲郎輔祭、佐藤幾久子

○七五三感謝献金

三千円 清水格・燈

一千円 山田喜美雄、熊谷経光

○会報献金

五千円 涌谷ハリストス正教会

○パニヒダ献金

三万円 平塚郁子

一万円 山村一作、岡崎たい子

五千円 岡崎澄之

三千円 笹川 皓、伊藤光子

二千円 服部幸枝、大立目謙直、高橋文彦、

一千円 小原淑子、佐藤周治

※敬称略

# 12月行事・奉事予定

○定例執事会 12月1日(14時)

3日(土) ※徹夜袴はお休み 第8調  
4日(日) 第25主日・生神女進堂祭

代式祈禱(10時30分)

書札 エフエス 4:1・6

福音 ルカ 12:16・21【第26主日分】

※この日は代式祈禱となります。聖体礼儀は行われませんのでご注意ください。

3・4日水口神父白河正教会出張

3日(土) 18時 祭日徹夜袴

4日(日) 10時 主日・生神女進堂祭(堂祭) 聖体礼儀

10日(土) 主日徹夜袴 第1調(17時)  
11日(日) 第26主日聖体礼儀(10時)

書札 エフエス 5:8・19

福音 ルカ 13:10・17【第27主日分】

▼聖名日モレーベン

■月例パニヒダ/婦人会・方舟会

11日(日) 中新田正教会・代式祈禱(10時)

17日(土) 主日徹夜袴 第2調(17時)  
18日(日) 第27主日・聖列祖の主日

ミラ・リキヤの奇蹟者聖ニコライ祭(先取り)

聖体礼儀(10時)

書札 エウレイ11:9・10, 17:23, 32・40

福音 マトフエイ 1:1・25【降誕祭前】

■ミニ講話

◇降誕祭前清掃(おみがき) 奉仕

23・24日水口神父中新田正教会出張

23日(金) 16時 聖歌練習

24日(土) 17時 祭日前晩禱

10時 降誕祭聖体礼儀

※今月の中新田巡回は都合により(金)になります。

24日(土) 降誕祭徹夜袴(17時)

25日(日) 降誕祭聖体礼儀(10時)

書札 ガラテイヤ 4:4・7

福音 マトフエイ 2:1・12

※仙台教会での降誕祭祝賀会はありません

31日(土) 新年の奉事徹夜袴(17時)

1日(日) 新年の感謝祈禱(0時)

新年・第29主日/降誕祭後の主日

聖体礼儀(10時)

書札 ガラテイヤ 1:11・19

福音 マトフエイ 2:13・23【降誕祭後】

新年の感謝祈禱

※12月25日の降誕祭などの関係で、12月と1月の主日福音は変則的に読まれます。

12月の行事・集会は以下のように予定いたします。

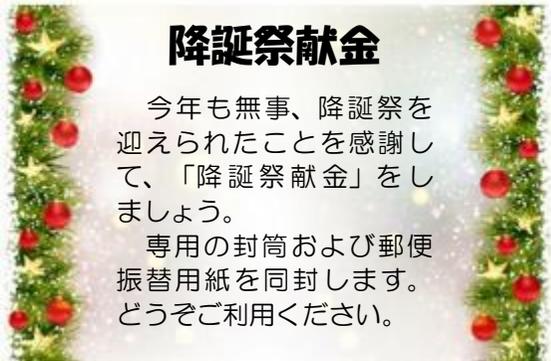
- 【聖名日感謝禱】→11日(日)◀今月は第二日曜日▶
- 【月例パニヒダ】→11日(日)
- 【婦人会・方舟会】→11日(日)
- 【ミニ講話】→18日(日)
- 【聖堂清掃奉仕】→18日(日)
- 【教会学校】→お休みします
- 【伝道会】7(水)、14(水)、21(水)、(28(水)はお休みします)

コロナ禍の未だ完全に治まらない中、十分お気をつけてご参拝下さい。

## 降誕祭献金

今年も無事、降誕祭を迎えられたことを感謝して、「降誕祭献金」をしましょう。

専用の封筒および郵便振替用紙を同封します。どうぞご利用ください。



※ 会報に掲載されました写真でご希望のものがあればプリントいたしますのでご遠慮なくお申し出ください。